

活動報告書

1 団体名 灯
2 活動内容 目的：子どもたちの第3のいばしょづくり、子どもたちのニーズを把握する。 日時：毎週日曜日 10-14 時(令和4年9月25日～計25回) 場所：亀川中央町二区公民館 内容：一緒に遊んだり、話したり、ご飯を食べる。 利用者：小学生 5-10名程度 不定期でイベントを開催 ボウリング、ビンゴ、フィリピンの子供と ZOOM でお話し、バッグにお絵かきをするワークショップ
3 活動期間 令和4年 9月25日 から 令和5年 3月31日まで
4 活動実施内容 毎週日曜日の10時から14時にかけて、子ども達と一緒に遊び、ご飯を食べ、向き合うことで、子どもたちの居場所づくりに取り組んだ。9月25日から開始し、計25回開催した。灯主催のイベントやコラボイベントも3回ほど実施した。1つ目のイベントでは、地元の企業の方に協賛していただき、布にかける絵の具を使用し、トートバックにお絵かきをするワークショップを行った。2つ目のイベントでは、ボウリングやビンゴを行った。3つ目のイベントでは、Dream of Tommorow さんという団体とコラボさせていただき、フィリピンの子どもたちとの交流イベントを行った。
5 活動の成果 9月末から始まった活動で、最初は平均5人前後子どもたちが来てくれていたが、3月には10人前後の子ども達が来てくれるようになった。子どもたちは、普段思っていることを話してくれたり、定期的に来てくれていたりしている。親御さんからは、「いつもはたくさん笑わない子がここにいるとたくさん笑っている、きっと楽しいのだろうな」「満足した顔で帰ってくる」等の声をいただく。このことから、当団体の目的である、子どもたちの居場所づくりは徐々にできているのではないかと考える。
6 反省点や今後の目標 子どもたちの居場所を作りたいということから、肯定的な言葉を使うように、またなるべく自由に過ごせる環境づくりを意識した。そのことで少々自由すぎる点も出てきてしまった。学校で注意する点は注意しつつ、子どもたちがまた来たいと思えるあたたかい場所づくりを行っていききたい。今後は、関わっているメンバー、お手伝いできてくださっている方々、地域の方を含め、みんなで子どもを支える持続可能な活動を行っていききたいと考える。今関わる人だからこそできる活動内容を行い、10年20年先、子どもたちが大人になった時の記憶の中で支えになれる、あくまで第三の居場所という立ち位置での活動を行っていききたい。